

## 東京都北区放課後子ども総合プランの運営に関する要綱

令和6年3月19日5北教子わ第2507号区長決裁

(趣旨)

第1条 この要綱は、東京都北区放課後子ども総合プランの運営に関する条例施行規則（令和5年12月東京都北区規則第82号。以下「規則」という。）の施行に関し、必要な事項を定め、もって事業の円滑な運営を図るものとする。

(利用承認基準)

第2条 規則第5条に規定する事由ごとに区長が別に定める要件は、次の各号に掲げる事由の区分に応じ、当該各号に定めるところによるものとする。

(1) 規則第5条第1号に掲げる事由 学童クラブにあっては、原則として1日の勤務時間（勤務の間に挟まれた休憩時間は勤務時間に含めるが、通勤に要する時間は含めない。）が3時間以上であって、週3日以上（日曜日を除く。）労働することを、保護者が常態としていること。ただし、児童が小学校1年生の場合は、原則として午後1時から午後6時までの間に2時間以上、小学校2年生又は3年生の場合は、3時間以上労働することを常態としていることとする。早朝延長利用及び夕方延長利用にあっては、原則として1日の勤務時間（通勤に要する時間を含む。）が早朝延長利用又は夕方延長利用の時間帯にかかり、週3日以上（日曜日を除く。）労働することを、保護者が常態としていること。

(2) 規則第5条第2号に掲げる事由 保護者が、出産予定の月及びその前2月を含めた期間中又は出産した日以後2月が経過した日が属する月の末日までの期間中にあること。

(3) 規則第5条第3号に掲げる事由 保護者が疾病にかかり、若しくは負傷している状態にあり、又は精神若しくは身体に障害を有しており、かつ、次のいずれかに該当すること。

イ 保護者がおおむね1か月以上にわたり、入院し、又は入院を予定していること。

ロ 保護者がおおむね1か月以上にわたり、日中の大半を病床で過ごしている状態が継続していること。

ハ 保護者の疾病が感染により児童に悪影響を及ぼすおそれのあるものであること。

ニ 保護者が身体障害者手帳、愛の手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていること又は診断書等でそれと同程度と認められる状態にあること。

ホ イからニまでのいずれにも該当しないものの、児童の保護に支障があると認められる状態にあること。

(4) 規則第5条4号に掲げる事由 学童クラブにあっては、保護者がおおむね1か月以上にわたり、疾病の状態にある又は精神若しくは身体に障害を有する親族の介護（午前中に行うものを除く。）をしていること。早朝延長利用及び夕方延長利用にあっては、保護者がおおむね1か月以上にわたり、早朝延長利用又は夕方延長利用の時間帯に、疾病の状態にある又は精神若しくは身体に障害を有する親族の介護をしていること。

- (5) 規則第5条第5号に掲げる事由 火災、地震、風水害その他災害で保護者の居宅が失われ、若しくは大破し、又は保護者が災害復旧に従事していること。
- (6) 規則第5条第6号に掲げる事由 学童クラブにあっては、学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する学校、専修学校、各種学校その他これらに準ずる教育施設(以下、「学校等」という。)に在学している又は公共職業能力開発施設において行う職業訓練その他の職業訓練(以下、「職業訓練等」という。)を受けているため、保護者が児童の保護に当たることができないこと。早朝延長利用及び夕方延長利用にあっては、学校等に在学している又は職業訓練等を受けているため、週3日以上(日曜日を除く。)、早朝延長利用又は夕方延長利用の時間帯に、保護者が児童の保護に当たることができないこと。
- (7) 規則第5条第7号に掲げる事由 学童クラブにあっては、求職のため、保護者が昼間の外出を常態としている場合をいう。早朝延長利用及び夕方延長利用にあっては、求職のため、週3日以上(日曜日を除く。)、早朝延長利用又は夕方延長利用の時間帯に、保護者が昼間の外出を常態としている場合をいう。
- (8) 規則第5条第8号に掲げる事由 保護者が児童の保護に当たることができないことが社会通念上明らかであること。この場合において、保護者は、区長が必要と認める資料を提出するとともに、その承認を受けなければならない。

(利用承認審査基準に関する指数)

第3条 規則第7条第3項に規定する別に定める指数は、別表のとおりとする。

(指導計画)

第4条 東京都北区立児童館長、北区立子どもセンター所長及び北区立子ども・ティーンズセンター所長(以下「館長等」という。)は、学童クラブごとに年間指導計画を立て、児童に健全な遊び及び正しい生活習慣を身につけさせるための指導を重点として行うものとする。

(報告)

第5条 館長等は、翌月の5日までに、学童クラブ、早朝延長利用及び夕方延長利用の月別育成状況を子どもわくわく課長に報告するものとする。

(間食の提供)

第6条 学童クラブを利用する児童に対し間食を提供するものとする。

(運営委員会)

第7条 区長は、放課後子ども総合プランの運営全般に関し検討及び協議を行うため、放課後子ども総合プラン運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。

2 運営委員会に関し必要な事項は、区長が別に定める。

(実行委員会)

第8条 区長は、実施校の運営に関し検討及び協議を行うため、わくわく☆ひろば実行委員会(以下「実行委員会」という。)を設置する。

2 実行委員会に関し必要な事項は、区長が別に定める。

(放課後コーディネーター)

第9条 区長は、各実施校の円滑な運営を図るため、関係者間の連絡調整、人材確保、活動プログラムの作成、保護者及び地域等への協力支援等を担う放課後コーディネーター

を配置する。

- 2 放課後コーディネーターに関し必要な事項は、区長が別に定める。

(委任)

第10条 この要綱の施行について必要な事項は、子ども未来部長が別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、令和6年 月 日から施行する。

(準備行為)

- 2 利用承認に必要な準備行為は、この要綱の施行日前においても行うことができる。

(経過措置)

- 3 この要綱の施行の際、廃止前の東京都北区学童クラブの運営に関する要綱（平成28年4月1日28北教子字第1001号）の規定により調製した用紙で、現に残存するものについては、所要の修正を加え、なお使用することができる。